

Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて！～

CBT合格率

ついに姫路獨協大学が2025年度から薬学部の学生募集を停止することを発表しました。今後も募集を停止する大学が出てくるかもしれません。一方、山口東京理科大学の薬学部1期生が卒業し、順天堂大学と国際医療福祉大学成田キャンパスが薬学部を新設した春でもありました。

また、4年次に実施される共用試験の結果も気になりました。共用試験は10年から開始したもので、コンピューター式試験のCBTと技能及び態度を確認するOSCE（客観的臨床能力試験）は当初、不合格者があまりいませんでした。しかし、15年には受験者1万86人中、不合格者が297人まで増え、ついに23年には受験者8,499人中、不合格者407人となりました。大学数が増えているのに、減ってきた受験者数と増える不合格者。難易度がそれほど高くないといわれてきた共用試験も侮れないようになってきました。

私は薬学部の現状について、「国家試験が難しくなったのか」「薬学生の質が下がったのか」と聞かれることが多いのですが、これは両方だと思います。薬学教育も薬業界も変革期を迎えているということです。そして、医療DXや働き方改革が推進されるように社会全体が変革期といえます。そんな中でも、私たちは薬を通して「健康を諦めなくてよい社会」に貢献しています。ともに健康を支える存在として評価されるように頑張っていきたいと思います。

しゃっちょうは行く！



メディアセレスクール
ファウンダー

児島 恵美子